



連続シンポジウム

巨大災害から生命と国土を護る ―二十四学会からの発信―

第一回 今後考えるべきハザード（地震動、津波等）と規模は何か

二十四学会が集結して、東日本大震災に対する反省と今後の抜本的な見直しに際し、学会の壁を越えて、本質的な議論を展開する連続シンポジウムを行います

日時：平成二十三年十二月六日（火）午後二時から午後五時三十分 入場無料
会場：日本学術会議講堂（東京都港区六本木七丁目二十二番地三十四号）
（東京メトロ千代田線 乃木坂駅出口5）

主催：日本学術会議 東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

プログラム

14：00-14：15

司会 目黒公郎（日本学術会議連携会員、東京大学教授）
挨拶 大西 隆（日本学術会議会長、東京大学教授）
家 泰弘（日本学術会議会員、第三部部长、東京大学教授）
趣旨 和田 章（日本学術会議会員、土木工学・建築学委員会委員長、東京工業大学名誉教授）

14：15-15：45

第一部 基調講演

島崎邦彦（東京大学名誉教授、元日本地震学会会長、日本学術会議連携会員）
今村文彦（東北大学教授、前日本自然災害学会会長、日本学術会議連携会員）
大西 隆（東京大学教授、元日本都市計画学会会長）

16：00-17：30

第二部 パネルディスカッション

コーディネータ

米田雅子（慶應義塾大学特任教授、日本学術会議連携会員）

パネリスト

基調講演者3名に加えて

濱田政則（早稲田大学教授、元土木学会会長、日本学術会議連携会員）
和田 章（東京工業大学名誉教授、日本建築学会会長）

連続シンポジウム（予告）

平成24年1月18日（水）開催 第2回

大災害の発生を前提として国土政策をどう見直すか

平成24年2月開催 第3回

減災社会をどう実現するか

今後のテーマ（検討中）

「首都直下地震、東海地震等の巨大地震と津波に、今日どう備えるか」

「大震災を契機に地域・まちづくりのあり方を考える」

「地盤災害の軽減のために何が必要か」

「原子力発電の安全性をどう評価するか」

「大震災発生時の教訓と記録をどう伝えるか」等

申込先：参加希望（第1回）と明記し、所属、氏名、所属学会名とともにメールでお申込下さい Email: sympo.ndm@gmail.com

問い合わせ先：早稲田大学准教授 小玉 乃理子 Email: kodama@aoni.waseda.jp

環境システム計測制御学会、空気調和・衛生工学会、
こども環境学会、地盤工学会、地域安全学会、
地理情報システム学会、土木学会、砂防学会、
日本応用地質学会、日本活断層学会、日本火災学会、
日本機械学会、日本建築学会、日本原子力学会、
日本コンクリート工学会、日本災害情報学会、
日本地震学会、日本地震工学会、日本自然災害学会、
日本集団災害医学学会、日本水産学会、日本造園学会、
日本地域経済学会、日本都市計画学会、日本水環境学会、
農業農村工学会、廃棄物資源循環学会

東日本大震災を受け、日本の国土・社会・産業基盤に関わる二十四の学会が集まり、平成二十三年五月に結成。従来の専門分化した学会のあり方を見直し、学会間の本質的な議論と交流を深めることにより、今後の我が国の学術の方向と基本政策を提言することをめざす。

東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

（議長 和田章）





連続シンポジウム

巨大災害から生命と国土を護る ―二十四学会からの発信―

第二回 大災害の発生を前提として国土政策をどう見直すか

二十四学会が集結して、東日本大震災に対する反省と今後の抜本的な見直しに際し、学会の壁を越えて、本質的な議論を展開する連続シンポジウムを行います

日時…平成二十四年一月十八日(水) 午後二時から午後五時三十分 入場無料
会場…日本学術会議講堂(東京都港区六本木七丁目二十二番地三十四号)
(東京メトロ千代田線 乃木坂駅出口5)

主催…日本学術会議 土木工学・建築学委員会、東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

プログラム

14:00-14:15

司会 目黒公郎(日本学術会議連携会員、東京大学教授)
挨拶 和田 章(日本学術会議会員、土木工学・建築学委員会委員長、東京工業大学名誉教授)

14:15-15:45

第一部 基調講演

伊藤 滋(東京大学名誉教授、元 日本都市計画学会会長)
中村英夫(東京都市大学長、東京大学名誉教授、元 土木学会会長)
岸井隆幸(日本大学教授、日本都市計画学会会長)

16:00-17:30

第二部 パネルディスカッション

コーディネータ

米田雅子(慶應義塾大学特任教授、日本学術会議連携会員)

パネリスト

基調講演者3名に加えて

嘉門雅史(香川高等専門学校長・京都大学名誉教授、日本学術会議会員)

依田照彦(早稲田大学教授、日本学術会議会員)

連続シンポジウム(予告)

平成24年2月開催 第3回 減災社会をどう実現するか

今後のテーマ(検討中)

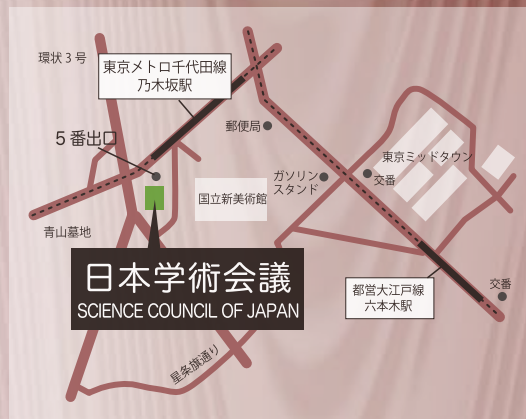
「首都直下地震、東海地震等の巨大地震と津波に、今日どう備えるか」
「大震災を契機に地域・まちづくりのあり方を考える」
「地盤災害の軽減のために何が必要か」
「原子力発電の安全性をどう評価するか」
「大震災発生時の教訓と記録をどう伝えるか」等

申込先: 参加希望(第2回)と明記し、所属、氏名、所属学会名とともに
メールでお申込下さい Email: sympo.ndm@gmail.com

問い合わせ先: 早稲田大学准教授 小玉 乃理子 Email: kodama@aoni.waseda.jp

環境システム計測制御学会、空気調和・衛生工学会、
こども環境学会、地盤工学会、地域安全学会、
地理情報システム学会、土木学会、砂防学会、
日本応用地質学会、日本活断層学会、日本火災学会、
日本機械学会、日本建築学会、日本原子力学会、
日本コンクリート工学会、日本災害情報学会、
日本森林学会、日本地震学会、日本地震工学会、
日本自然災害学会、日本集団災害医学学会、日本水産学会、
日本造園学会、日本地域経済学会、日本都市計画学会、
日本水環境学会、農業農村工学会、廃棄物資源循環学会

東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会
(議長 和田 章)
東日本大震災を受け、日本の国土・社会・産業基盤に関わる二十四の学会が集まり、平成二十三年五月に結成。従来の専門分化した学会のあり方を見直し、学会間の本質的な議論と交流を深めることにより、今後の我が国の学術の方向と基本政策を提言することをめざす。





連続シンポジウム

巨大災害から生命と国土を護る ―二十四学会からの発信―

第三回 減災社会をどう実現するか

二十四学会が集結して、東日本大震災に対する反省と今後の抜本的な見直しに際し、学会の壁を越えて、本質的な議論を展開する連続シンポジウムを行います

日時：平成二十四年二月二十九日（水）午後二時から午後五時三十分 入場無料
会場：日本学術会議講堂（東京都港区六本木七丁目二十二番地三十四号）
（東京メトロ千代田線 乃木坂駅出口5）

主催：日本学術会議土木工学・建築学委員会、東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

プログラム

14:00-14:15

司会 依田照彦（日本学術会議会員、早稲田大学教授）
挨拶 和田 章（日本学術会議会員、土木工学・建築学委員会委員長、東京工業大学名誉教授）

14:15-15:45

第一部 基調講演

河田 恵昭（関西大学教授、日本災害情報学会長）
室崎 益輝（関西学院大学教授・災害復興制度研究所長）
佐藤 洋平（東京大学名誉教授、元 農業農村工学会長）

16:00-17:30

第二部 パネルディスカッション

コーディネータ

米田雅子（慶應義塾大学特任教授、日本学術会議連携会員）

パネリスト

基調講演者3名に加えて
福和 伸夫（名古屋大学教授、日本学術会議連携会員）
目黒 公郎（東京大学教授、日本学術会議連携会員）

今後のテーマ（検討中）

「首都直下地震、東海地震等の巨大地震と津波に、今日どう備えるか」
「大震災を契機に地域・まちづくりのあり方を考える」
「地盤災害の軽減のために何が必要か」
「原子力発電の安全性をどう評価するか」
「大震災発生時の教訓と記録をどう伝えるか」等

申込先：下記サイトの申込フォームよりお申込ください

URL <http://jeqnet.org/sympo/no3.html>

定員になり次第締め切らせて頂きますので、ご了承ください

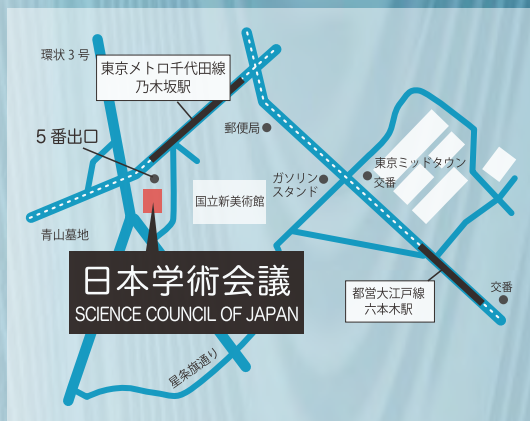
問合わせ先：早稲田大学准教授 小玉 乃理子 Email: kodama@aoni.waseda.jp

東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

（議長 和田 章）

東日本大震災を受け、日本の国土・社会・産業基盤に関わる二十四の学会が集まり、平成二十三年五月に結成。従来の専門分化した学会のあり方を見直し、学会間の本質的な議論と交流を深めることにより、今後の我が国の学術の方向と基本政策を提言することをめざす。

環境システム計測制御学会、空気調和・衛生工学会、こども環境学会、地盤工学会、地域安全学会、地理情報システム学会、土木学会、砂防学会、日本応用地質学会、日本活断層学会、日本火災学会、日本機械学会、日本建築学会、日本原子力学会、日本コンクリート工学会、日本災害情報学会、日本森林学会、日本地震学会、日本地震工学会、日本自然災害学会、日本集団災害医学会、日本水産学会、日本造園学会、日本地域経済学会、日本都市計画学会、日本水環境学会、農業農村工学会、廃棄物資源循環学会





連続シンポジウム

巨大災害から生命と国土を護る ―二十四学会からの発信―

第四回 首都直下・東海・東南海・南海等の巨大地震に今どう備えるか

二十四学会が集結して、東日本大震災に対する反省と今後の抜本的な見直しに際し、学会の壁を越えて、本質的な議論を展開する連続シンポジウムを行います

日時：平成二十四年五月十日（木）午後二時から午後五時四十五分 入場無料

会場：日本学術会議講堂（東京都港区六本木七丁目二十二番地三十四号）

（東京メトロ千代田線 乃木坂駅出口5）

主催：日本学術会議土木工学・建築学委員会、東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

プログラム

14：00-14：10

司会 目黒 公郎（東京大学教授、日本学術会議連携会員）
挨拶 大西 隆（日本学術会議会長、東京大学教授）
趣旨 和田 章（日本学術会議会員、土木工学・建築学委員会委員長、東京工業大学名誉教授）

共同声明について

依田 照彦（日本学術会議会員、早稲田大学教授）

14：10-16：15

第一部 基調講演

千木良 雅弘（日本学術会議連携会員、京都大学防災研究所教授、日本応用地質学会会長）
田中 孝義（京都大学名誉教授、日本火災学会副会長）
田中 宏明（京都大学大学院教授、環境システム計測制御学会会長）
重川 希志依（富士常葉大学教授、地域安全学会会長）
山本 保博（東京臨海病院病院長、日本集団災害医学会代表理事）

16：25-17：45

第二部 パネルディスカッション

コーディネータ

米田 雅子（慶應義塾大学特任教授、日本学術会議連携会員）

パネリスト

基調講演者 5 名により行う

連続シンポジウム（予告）

平成 24 年 6 月 21 日（木）開催 第 5 回
「大震災を契機に地域・まちづくりを考える」
平成 24 年 7 月 24 日（火）開催 第 6 回
「原発事故からエネルギー政策をどう建て直すか」
平成 24 年 8 月 8 日（水）開催 第 7 回
「大震災を契機に国土づくりを考える」
平成 24 年 11 月 総括フォーラム開催予定

申込先：下記サイトの申込フォームよりお申込ください

URL <http://jeqnet.org/sympo/no4.html>

定員になり次第締め切らせて頂きますので、ご了承ください

問合わせ先：東京工業大学 小野口弘美 Email : onoguchi@serc.titech.ac.jp

東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

（議長 和田 章）

東日本大震災を受け、日本の国土・社会・産業基盤に関わる二十四の学会が集まり、平成二十三年五月に結成。従来の専門分化した学会のあり方を見直し、学会間の本質的な議論と交流を深めることにより、今後の我が国の学術の方向と基本政策を提言することをめざす。

環境システム計測制御学会、空気調和・衛生工学会、
こども環境学会、砂防学会、地盤工学会、土木学会、
地理情報システム学会、日本火災学会、日本活断層学会、
日本応用地質学会、日本計画行政学会、日本建築学会、
日本機械学会、日本計画法政学会、日本建築学会、
日本原子力学会、日本コンクリート工学会、
日本災害情報学会、日本自然災害学会、
日本集団災害医学会、日本森林学会、日本地震学会、
日本地震工学会、日本地すべり学会、日本造園学会、
日本地域経済学会、日本都市計画学会、日本水環境学会、
農業農村工学会、廃棄物資源循環学会

（現在二十九学会）





連続シンポジウム

巨大災害から生命と国土を護る ―二十四学会からの発信―

第五回 大震災を契機に地域・まちづくりを考える

二十四学会が集結して、東日本大震災に対する反省と今後の抜本的な見直しに際し、学会の壁を越えて、本質的な議論を展開する連続シンポジウムを行います

日時：平成二十四年六月二十一日（木）午後二時から午後五時四十五分 入場無料

会場：日本学術会議講堂（東京都港区六本木七丁目二十二番地三十四号）

（東京メトロ千代田線乃木坂駅出口5）

主催：日本学術会議土木工学・建築学委員会、東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

プログラム

14：00-14：10

司会 依田照彦（日本学術会議会員、早稲田大学教授）
挨拶 和田 章（日本学術会議会員、土木工学・建築学委員会委員長、東京工業大学名誉教授）

14：10-16：15

第一部 基調講演

布野 修司（滋賀県立大学大学院教授、日本建築学会副会長）
仙田 満（日本学術会議連携会員、放送大学教授、こども環境学会代表理事）
増田 昇（大阪府立大学大学院教授、日本造園学会会長）
吉岡 敏明（東北大学大学院教授、廃棄物資源循環学会「災害廃棄物対策・復興タスクチーム」幹事）
浅見 泰司（日本学術会議連携会員、東京大学空間情報センター長、地理情報システム学会会長）

16：25-17：45

第二部 パネルディスカッション

コーディネータ

米田 雅子（慶應義塾大学特任教授、日本学術会議連携会員）

パネリスト

基調講演者5名により行う

連続シンポジウム（予告）

平成24年7月24日（火）開催 第6回
「原発事故からエネルギー政策をどう建て直すか」
平成24年8月8日（水）開催 第7回
「大震災を契機に国土づくりを考える」
平成24年11月 総括フォーラム開催予定

申込先：下記サイトの申込フォームよりお申込ください

URL <http://jeqnet.org/sympo/no5.html>

定員になり次第締め切らせて頂きますので、ご了承ください

問合わせ先：東京工業大学 小野口弘美 Email: onoguchi@serc.titech.ac.jp

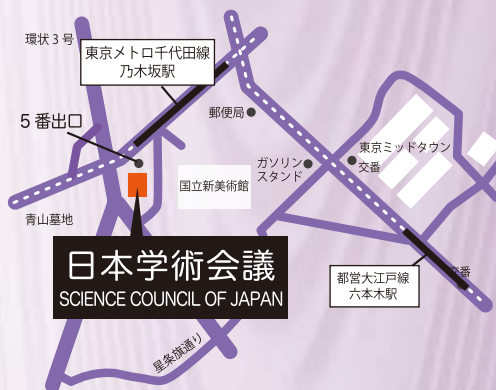
東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

（議長 和田 章）

東日本大震災を受け、日本の国土・社会・産業基盤に関わる二十四の学会が集まり、平成二十三年五月に結成。従来の専門分化した学会のあり方を見直し、学会間の本質的な議論と交流を深めることにより、今後の我が国の学術の方向と基本政策を提言することをめざす。

環境システム計測制御学会、空気調和・衛生工学会、こども環境学会、砂防学会、地域安全学会、地理情報システム学会、地盤工学会、土木学会、日本応用地質学会、日本火災学会、日本活断層学会、日本機械学会、日本計画行政学会、日本建築学会、日本原子力学会、日本コンクリート工学会、日本災害情報学会、日本自然災害学会、日本集団災害医学会、日本森林学会、日本地震学会、日本地震工学会、日本地すべり学会、日本造園学会、日本地域経済学会、日本都市計画学会、日本水環境学会、農業農村工学会、廃棄物資源循環学会

（現在二十九学会）





連続シンポジウム

巨大災害から生命と国土を護る ―二十四学会からの発信―

第六回 原発事故からエネルギー政策をどう建て直すか

二十四学会が集結して、東日本大震災に対する反省と今後の抜本的な見直しに際し、学会の壁を越えて、本質的な議論を展開する連続シンポジウムを行います

日時：平成二十四年七月二十四日（火）午後二時から午後五時三十分 入場無料
会場：日本学術会議講堂（東京都港区六本木七丁目二十二番地三十四号）
（東京メトロ千代田線 乃木坂駅出口5）

主催：日本学術会議 土木工学・建築学委員会、東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

プログラム

14：00-14：10

司会 目黒 公郎（東京大学教授、日本学術会議連携会員）
挨拶 和田 章（日本学術会議会員、土木工学・建築学委員会委員長、東京工業大学名誉教授）

14：10-16：10

第一部 基調講演

入倉 孝次郎（日本学術会議連携会員、京都大学名誉教授、愛知工業大学客員教授）
田中 知（東京大学大学院教授、前 日本原子力学会会長）
矢部 彰（日本学術会議連携会員、（独）産業技術総合研究所理事、日本機械学会副会長）
坂本 雄三（独立行政法人建築研究所理事長、前 空気調和・衛生工学会会長）

16：20-17：30

第二部 パネルディスカッション

コーディネーター 米田 雅子（慶應義塾大学特任教授、日本学術会議連携会員）
パネリスト 基調講演者4名に加えて
藤江 幸一（横浜国立大学教授、日本水環境学会前会長）

連続シンポジウム（予告）

平成 24 年 8 月 8 日（水）開催 第 7 回
「大震災を契機に国土づくりを考える」
平成 24 年 11 月 総括フォーラム開催予定

申込先：下記サイトの申込フォームよりお申込ください

URL <http://jeqnet.org/sympo/no6.html>

定員になり次第締め切らせて頂きますので、ご了承ください

問合わせ先：東京工業大学 小野口弘美 Email : onoguchi@serc.titech.ac.jp

東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

（議長 和田 章）

東日本大震災を受け、日本の国土・社会・産業基盤に関わる二十四の学会が集まり、平成二十三年五月に結成。従来の専門分化した学会のあり方を見直し、学会間の本質的な議論と交流を深めることにより、今後の我が国の学術の方向と基本政策を提言することをめざす。

環境システム計測制御学会、空気調和・衛生工学会、
こども環境学会、砂防学会、地域安全学会、
地理情報システム学会、地盤工学学会、土木学会、
日本応用地質学会、日本火災学会、日本地質断層学会、
日本機械学会、日本計画行政学会、日本建築学会、
日本原子力学会、日本コンクリート工学会、
日本災害情報学会、日本自然災害学会、
日本集団災害医学学会、日本森林学会、日本地震学会、
日本地震工学学会、日本地すべり学会、日本造園学会、
日本地域経済学会、日本都市計画学会、日本水環境学会、
農業農村工学会、廃棄物資源循環学会

（現在二十九学会）





連続シンポジウム

巨大災害から生命と国土を護る ―二十四学会からの発信―

第七回 大震災を契機に国土づくりを考える

二十四学会が集結して、東日本大震災に対する反省と今後の抜本的な見直しに際し、学会の壁を越えて、本質的な議論を展開する連続シンポジウムを行います

日時：平成二十四年八月八日（水）午後二時から午後五時四十五分 入場無料

会場：日本学術会議講堂（東京都港区六本木七丁目二十二番地三十四号）
（東京メトロ千代田線乃木坂駅出口5）

主催：日本学術会議土木工学・建築学委員会、東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

プログラム

14：00-14：10

司会 依田照彦（日本学術会議会員、早稲田大学教授）
挨拶 和田 章（日本学術会議会員、土木工学・建築学委員会委員長、東京工業大学名誉教授）

14：10-16：15

第一部 基調講演

日下部 治（日本学術会議連携会員、茨城工業高等専門学校長、前地盤工学会長）
鈴木 雅一（日本学術会議連携会員、東京大学大学院教授、砂防学会長）
落合 博貴（（独）森林総合研究所 国土保全・水資源研究担当、研究コーディネータ）
丸山 久一（長岡技術科学大学教授、日本コンクリート工学会副会長）
岡田 知弘（日本学術会議連携会員、京都大学大学院教授、日本地域経済学会長）

16：25-17：45

第二部 パネルディスカッション

コーディネータ

目黒 公郎（東京大学教授、日本学術会議連携会員）

パネリスト

基調講演者 5 名により行う

連続シンポジウム（予告）

平成 24 年 11 月 総括フォーラム開催予定

申込先：下記サイトの申込フォームよりお申込ください

URL <http://jeqnet.org/sympo/no7.html>

定員になり次第締め切らせて頂きますので、ご了承ください

問い合わせ先：東京工業大学 小野口弘美 Email: onoguchi@serc.titech.ac.jp

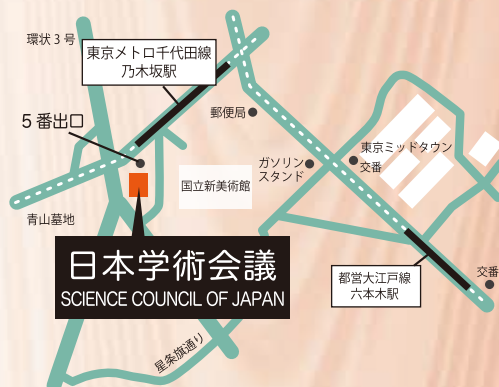
東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

（議長 和田 章）

東日本大震災を受け、日本の国土・社会・産業基盤に関わる二十四の学会が集まり、平成二十三年五月に結成。従来の専門分化した学会のあり方を見直し、学会間の本質的な議論と交流を深めることにより、今後の我が国の学術の方向と基本政策を提言することをめざす。

環境システム計測制御学会、空気調和・衛生工学会、こども環境学会、砂防学会、地域安全学会、地理情報システム学会、地盤工学会、土木学会、日本応用地質学会、日本火災学会、日本活断層学会、日本機械学会、日本計画行政学会、日本建築学会、日本原子力学会、日本コンクリート工学会、日本災害情報学会、日本自然災害学会、日本集団災害医学学会、日本森林学会、日本地震学会、日本地震工学会、日本地すべり学会、日本造園学会、日本地域経済学会、日本都市計画学会、日本水環境学会、農業農村工学会、廃棄物資源循環学会

（現在二十九学会）



日本学術会議主催 学術フォーラム

巨大災害から生命と国土を護る ―三十学会からの発信―

日時：平成二十四年十一月二十九日（木）午後一時から午後六時 入場無料
会場：日本学術会議講堂（東京都港区六本木七丁目二十二番地三十四号）

東日本大震災を受けて、巨大災害から生命と国土を護るため、30学会が集まり連続シンポジウムを開催してきました。すべての学会の代表が結集し総括フォーラムを開催します。

プログラム

13:00 挨拶・シンポジウム報告

司会：目黒公郎（日本学術会議連携会員、東京大学教授）
挨拶：大西 隆（日本学術会議会長、東京大学教授）
家 泰弘（日本学術会議会員、第三部部长、東京大学教授）
和田 章（日本学術会議会員、土木工学・建築学委員会委員長、東京工業大学名誉教授）

連続シンポジウム報告（第1回―第7回）：

依田照彦（日本学術会議会員、早稲田大学教授）

13:20 学会発表およびディスカッション（詳細は2ページを参照ください）

コーディネータ 米田雅子（日本学術会議連携会員、慶應義塾大学特任教授）

発表者 30学会から会長などの代表者が4テーマに分かれて登壇

テーマごとに発表とディスカッションを行う

テーマ1：想定される巨大災害と国土づくり

テーマ2：巨大災害に強い地域・まちづくり

テーマ3：巨大災害に今どう備えるか

テーマ4：自然災害と国土保全

17:30 全体討論

17:55 閉会挨拶 依田照彦

定員：先着 340 名（10月9日で定員に達しましたので、受付は終了いたしました。）

広報ご関係者は当日受付もいたします）

問合せ先：日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34

TEL：03-3403-6295 FAX：03-3403-1260

お申込み：<http://jeqnet.org/sympo/no8.html>

東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

（議長 和田 章）

東日本大震災を受け、日本の国土・社会・産業基盤に関わる二十四の学会が集まり、平成二十三年五月に結成。従来の専門分化した学会のあり方を見直し、学会間の本質的な議論と交流を深めることにより、今後の我が国の学術の方向と基本政策を提言することをめざす。



環境システム計測制御学会、空気調和・衛生工学会、こども環境学会、砂防学会、地域安全学会、地理情報システム学会、地盤工学会、土木学会、日本応用地質学会、日本火災学会、日本活断層学会、日本機械学会、日本計画行政学会、日本建築学会、日本原子力学会、日本コンクリート工学会、日本災害情報学会、日本自然災害学会、日本集団災害医学会、日本森林学会、日本地震学会、日本地震工学会、日本地すべり学会、日本造園学会、日本地域経済学会、日本都市計画学会、日本水環境学会、農業農村工学会、廃棄物資源循環学会

（現在二十九学会＋学協会連絡会）

学会発表およびディスカッション

コーディネータ 米田雅子（日本学術会議連携会員、慶應義塾大学特任教授）

13：20 テーマ１：想定される巨大災害と国土づくり

テーマ趣旨：

東海地震・東南海地震・南海地震、さらに首都直下地震などへの対策は急務かつ重要な課題であり、ハザード（地震動、津波など）とそれへの対策の二面から検討する必要がある。長期的なビジョンの下で作成される国土計画やこれに基づく社会基盤の整備を進める必要がある。また、このようなハード面の充実に加えて、災害時の対応などソフト面での対策も欠かせない。これらを組み合わせた経済的・時間的に現実的な国土政策はいかにあるべきかを議論する。

日本地震学会会長	加藤照之
日本活断層学会会長	中田 高
日本地震工学会会長	川島 一彦
日本自然災害学会副会長	高橋和雄
日本災害情報学会副会長	吉井博明
土木学会会長	小野武彦
日本計画行政学会会長	大西 隆

14：20 テーマ２：巨大災害に強い地域・まちづくり

テーマ趣旨：

東日本大震災の後、日本列島が地震の活動期に入っているといわれ、巨大地震の発生が危惧されている。地域・まちづくりにおいて、今後、根本的に見直していくべきものは何かを議論する。さらに、今後の望ましい地域・まちづくりにおいて、重要と思われる方向性およびその方法などについて議論する。

日本建築学会会長	和田 章
空気調和・衛生工学会副会長	井上 隆
こども環境学会会長	小澤紀美子
日本造園学会会長	増田 昇
地理情報システム学会会長	浅見泰司
日本都市計画学会会長	後藤春彦

15：20 休憩

15：30 テーマ３：巨大災害に今どう備えるか

テーマ趣旨：

東日本大震災の被災地における復旧・復興を一刻も早く成し遂げるとともに、それを通して得られた減災のための知見をいち早く近い将来に迫る巨大災害対策へ反映することが喫緊の課題である。時間的、社会的および経済的制約の下で、いかにしてわが国が巨大災害に備え、迎え、そこから再生すべきかを議論する。

地域安全学会会長	宮野道雄
日本火災学会会長	佐藤研二
環境システム計測制御学会会長	清水芳久
日本原子力学会会長	野村茂雄
日本機械学会会長	金子成彦
日本集団災害医学会代表理事	山本保博
廃棄物資源循環学会副会長	吉岡敏明

16：30 テーマ４：自然災害と国土保全

テーマ趣旨：

自然環境・社会環境の劣化と少子・高齢化が急速に進み、社会的・経済的大打撃に対する回復力が期待できなくなりつつある我が国では、災害に強い国づくりが今後一層重要となる。各地で頻発する洪水や土砂災害などの自然災害を踏まえ、国土保全の観点から、課題と今後の方向性を議論する。

砂防学会前会長	鈴木雅一
日本森林学会会長	井出雄二
日本地すべり学会会長	檜垣大助
地盤工学会会長	末岡 徹
日本応用地質学会会長	千木良雅弘
日本コンクリート工学会副会長	丸山久一
農業農村工学会会長	塩沢 昌
日本水環境学会会長	中島 淳
日本地域経済学会理事長	鈴木 誠



日本学術会議主催 シンポジウム

南海トラフ地震に学界はいかに向き合うか

日時：平成二十五年十二月二日（月）午後一時から午後五時三十分 入場無料（資料代一、〇〇〇円）
 会場：日本学術会議講堂（東京都港区六本木七丁目二十二番地三十四号）
 主催：日本学術会議 土木工学・建築学委員会 東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

開催趣旨

東日本大震災は、大規模災害への対策や対応には、多様な研究分野の連携と融合が不可欠なことを明らかにしたが、さらに大規模な被害想定が政府中央防災会議によって発表された。南海トラフ巨大地震による大震災である。この想定結果を踏まえて、防災・減災のために、様々な学術分野がどのように向き合い、どのような学際的な連携を進めていくべきか。本シンポジウムでは、理学・工学の関連分野に加え、社会経済などの人文・社会科学や医学をはじめとする生命科学を含めた幅広い分野の研究者・専門家が集まり、分野の壁を越えて議論する。

プログラム

司会

目黒公郎（日本学術会議連携会員、東京大学教授）

13:00 挨拶・趣旨説明

挨拶

大西 隆（日本学術会議会長、東京大学名誉教授）

趣旨説明

和田 章（日本学術会議会員、東京工業大学名誉教授）

東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会の紹介

依田照彦（日本学術会議会員、早稲田大学教授）

13:20 南海トラフ巨大地震の被害想定と対策について

日原洋文（内閣府政策統括官（防災担当））

13:50 ディスカッション「南海トラフ地震に学界はいかに向き合うか」

- 幅広い分野の学者・専門家による分野の壁を越えた議論 -

コーディネータ

米田雅子（日本学術会議連携会員、慶應義塾大学特任教授）

パネリスト

日本学術会議会員、各学会代表者（詳細は次ページ）

テーマ1： 事前防災への取り組み

テーマ2： 発災時の対応と備え

テーマ3： 発災後の回復力の強化

17:00 全体討論

17:25 閉会挨拶

家 泰弘（日本学術会議副会長、東京大学教授）

定員： 先着 340 名

お申込み： 下記サイトの申込フォームよりお申込ください。

定員になり次第締め切らせて頂きますので、ご了承ください。

<http://jeqnet.org/sympo/>

問合せ先：東京工業大学 小野口弘美 Email: onoguchi@serc.titech.ac.jp

インターネットで実況中継 (Ustream) :

当日、ホームページ <http://jeqnet.org/sympo/> を御覧下さい。

東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

東日本大震災を受け、日本の国土・社会・産業基盤に関わる学会が集まり、平成二十三年五月に結成。従来の専門分化した学会のあり方を見直し、学会間の本質的な議論と交流を深めることにより、今後の我が国の学術の方向と基本政策を提言することをめざす。

環境システム計測制御学会、
 空気調和・衛生工学会、こども環境学会、
 砂防学会、地域安全学会、
 地理情報システム学会、地盤工学会、
 土木学会、日本応用地質学会、
 日本火災学会、日本活断層学会、
 日本機械学会、日本計画行政学会、
 日本建築学会、日本原子力学会、
 日本コンクリート工学会、
 日本災害情報学会、日本自然災害学会、
 日本集団災害医学学会、日本地震学会、
 日本地震工学会、日本地すべり学会、
 日本造園学会、日本地域経済学会、
 日本都市計画学会、日本水環境学会、
 農業農村工学会、廃棄物資源循環学会



ディスカッション

「南海トラフ地震に学界はいかに向き合うか」

幅広い分野の学者・専門家による分野の壁を越えた議論

中央防災会議から発表された南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえて、その防災・減災のために、様々な学術分野がどのように向き合い、どのような学際的な連携を進めていくべきか、防災に関連する学会に加え、社会経済や医学等の幅広い分野の学者・専門家が集まり、分野の壁を越えて議論する。

13:50 テーマ1：事前防災への取組み

テーマ趣旨：津波防災、建築物の耐震化、火災対策、土砂災害・液状化対策、ライフライン・インフラの確保、教育・訓練等、総合的な防災の向上のために事前防災が重要である。危険度が高いとされる臨海工業地帯の安全性の確保も急がれる。限られた予算と時間のなかで、学者・専門家が取り組むべき課題は何か、学界が連携して取り組むべき課題は何か。

休憩

15:00 テーマ2：発災時の対応と備え

テーマ趣旨：救助・救命、避難路の確保、消火活動、緊急輸送活動、物資調達、避難者・帰宅困難者対応、ライフライン・インフラの復旧、防災情報対策、広域連携・支援体制等、発災時の対応と備えが急がれている。地震発生から津波到達までの時間が短く、被害が広域にわたることが危惧されるなかで、学者・専門家が取り組むべき課題は何か、学界が連携して取り組むべき課題は何か。

16:00 テーマ3：発災後の回復力の強化

テーマ趣旨：被災地における混乱と被害の拡大を防ぎ、社会・産業の機能を回復するために必要な取組みは何か。太平洋ベルト地帯をはじめ、産業や人口が集積する地域が多く含まれており、甚大な被害が予想されている。復旧・復興を早く成し遂げるために、学者・専門家が取り組むべき課題は何か、学界が連携して取り組むべき課題は何か。東日本大震災での教訓をもとに議論する。

17:00 全体討論

討論趣旨：理学・工学、社会経済・医学等の幅広い分野の学者・専門家が、学界として南海トラフ地震にどう向き合うかを、大所高所から自由に議論する。

パネリスト

日本学術会議

春日文子 副会長, 第二部会員, 国立医薬品食品衛生研究所
岩本康志 第一部会員, 東京大学 教授
渡部終五 第二部会員, 北里大学 教授

東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

土木学会 元会長 濱田政則
日本活断層学会 会長 中田 高
日本地震学会 副会長 西澤あずさ
日本地震工学会 副会長 当麻純一
地盤工学会 会長 末岡 徹
日本応用地質学会 会長 千木良雅弘
砂防学会 会長 岡本正男
日本地すべり学会 会長 檜垣大助
こども環境学会 会長 小澤紀美子

日本自然災害学会 副会長 高橋和雄
地域安全学会 会長 宮野道雄
日本災害情報学会 会長 布村明彦
地理情報システム学会 理事 厳 網林
日本火災学会 会長 田中孝義
環境システム計測制御学会 会長 清水芳久
日本水環境学会 会長 迫田章義
廃棄物資源循環学会 理事 吉岡敏明
日本集団災害医学会 代表理事 山本保博

日本計画行政学会 会長 大西 隆
日本都市計画学会 部会長 苦瀬博仁
日本コンクリート工学会 元副会長 三橋博三
日本原子力学会 標準委員会委員長 宮野 廣
日本機械学会 会長 矢部 彰
日本建築学会 会長 吉野 博
空気調和・衛生工学会 副会長 原田 仁
日本造園学会 会長 下村彰男
農業農村工学会 副会長 内田一徳
日本地域経済学会 会長 岡田知弘

コーディネータ

米田雅子 日本学術会議連携会員



開催趣旨

国連防災世界会議（2015年3月仙台市）、世界工学会議（2015年11月京都市）に先立ち、わが国の防災・減災に関連する諸学会、および社会経済や医学等の幅広い分野の学者が集まり、東日本大震災・阪神淡路大震災をはじめとするこれまでの自然災害から得られた知見を、世界の防災・減災にどう活かしていくべきかを、分野の壁を越えて議論する。

プログラム

10:00-10:20 趣旨説明・挨拶

司 会 目黒公郎（日本学術会議連携会員、東京大学教授）
趣旨説明 本フォーラムの趣旨、学協会連絡会の紹介
和田 章（日本学術会議会員、東京工業大学名誉教授）
来賓挨拶 日原洋文（内閣府政策統括官（防災担当））
佐藤順一（日本工学会会長）

10:20-12:00 講演

講演1：国連防災世界会議について
大西 隆（日本学術会議会長、豊橋技術科学大学学長、東京大学名誉教授）
講演2：日本学術会議の防災・Future Earthに関する国際活動
春日文子（日本学術会議連携会員・前副会長、国立医薬品食品衛生研究所）
講演3：世界工学会議について
依田照彦（日本学術会議会員、早稲田大学教授）
講演4：災害に強い国土と環境
嘉門雅史（日本学術会議連携会員、京都大学名誉教授）
講演5：地球気候変動と防災・減災
小松利光（日本学術会議会員、九州大学名誉教授）

13:00-17:00 パネルディスカッション「大震災の経験を国際的にどう活かすか」

パネリスト：「東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会」各学会の代表者
（詳細は次ページ）

コーディネータ：米田雅子（日本学術会議連携会員、慶應義塾大学特任教授）

13:00-14:55 セッション1：技術面を中心とした議論
14:55-15:10 休憩
15:10-17:00 セッション2：社会面を中心とした議論

17:00-17:25 30学会共同声明（英文）の発表および全体討論

17:25-17:30 閉会挨拶

定 員： 先着340名

お申込み： 9月22日（月）より受付を開始します。下記サイトの申込フォームよりお申込ください。

<http://jeqnet.org/sympo/>

定員になり次第締め切らせて頂きますので、ご了承ください。

問合せ先： 東京工業大学 小野口弘美 Email: onoguchi@serc.titech.ac.jp

インターネットで実況中継（Ustream）：

当日、ホームページ <http://jeqnet.org/sympo/> を御覧下さい。

東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会（現在29学会 + 学協会連絡会）

東日本大震災を受け、日本の国土・社会・産業基盤に関わる学会が集まり、平成23年5月に結成。従来の専門分化した学会のあり方を見直し、学会間の本質的な議論と交流を深めることにより、今後の我が国の学術の方向と基本政策を提言することをめざす。

環境システム計測制御学会
空気調和・衛生工学会
計測自動制御学会
こども環境学会
砂防学会
地域安全学会
地理情報システム学会
地盤工学会
土木学会
日本応用地質学会
日本火災学会
日本活動断層学会
日本機械学会
日本計画行政学会
日本原子力学会
日本建築学会
日本自然災害学会
日本自然災害医学学会
日本地震学会
日本地震工学学会
日本地すべり学会
日本造園学会
日本地域経済学会
日本都市計画学会
日本水環境学会
農業農村工学会
廃棄物資源循環学会

主 会 日
催 場 時
： 日本学術会議土木工学・建築学委員会、東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会
： 日本学術会議講堂（東京都港区六本木七丁目二十二番地三十四号）
： 平成二十六年十一月二十九日（土） 午前十時から午後五時三十分 入場無料

日本学術会議主催 学術フォーラム（第十回「巨大災害から生命と国土を護る」）

東日本大震災・阪神淡路大震災等の経験を国際的にどう活かすか



13:00—17:25 パネルディスカッション

「大震災の経験を国際的にどう活かすか」

国連防災世界会議(2015年3月仙台市)、世界工学会議(2015年11月京都市)に先立ち、わが国の防災・減災に関連する諸学会、および社会経済や医学等の幅広い分野の学者が集まり、東日本大震災・阪神淡路大震災をはじめとするこれまでの自然災害から得られた知見を、世界の防災・減災にどう活かしていくべきかを、分野の壁を越えて議論する。

現在、日本では、南海トラフ巨大地震の発生により、阪神淡路大震災型の強い揺れによる都市域の地震災害と、東日本大震災型の広域における津波・揺れによる被害の両方が複合的に起こることが懸念されており、防災・減災機能の強化にむけて様々な分野で研究が精力的に続けられている。

これらの日本の防災・減災に関わる研究成果を、各国の地震や津波等の災害リスクの軽減に役立てるとともに、地球規模の防災体制を確立するために必要な国際的研究協力体制をどのように構築し、効果的に展開するかが課題となっている。このような状況に鑑み、専門分野を異にする学会が、学際的な連携を強めつつ、日本としてどう国際化にとりくむべきかを議論する。

13:00 セッション1：技術面を中心とした議論

環境システム計測制御学会 会長 清水芳久
空気調和・衛生工学会 副会長 富田弘明
計測自動制御学会 会長 仲田隆一
砂防学会 会長 石川芳治
地盤工学会 会長 東畑郁生
土木学会 会長 磯部雅彦
日本応用地質学会 会長 長谷川修一
日本活断層学会 会長 岡田篤正
日本機械学会 会長 久保司郎
日本原子力学会 標準委員会委員長 宮野 廣
日本コンクリート工学会 会長 三橋博三
日本地震学会 会長 加藤照之
日本地震工学会 会長 安田 進
日本地すべり学会 会長 土屋 智
廃棄物資源循環学会 理事 吉岡敏明

14:55—15:10 休憩

15:10 セッション2：社会面を中心とした議論

こども環境学会 会長 小澤紀美子
地域安全学会 副会長 糸井川栄一
地理情報システム学会 会長 矢野桂司
日本火災学会 会長 田中哮義
日本計画行政学会 理事 山本佳世子
日本建築学会 会長 吉野 博
日本災害情報学会 副会長 田中 淳
日本自然災害学会 副会長 寶 馨
日本集団災害医学会 理事 浅井康文
日本造園学会 会長 下村彰男
日本地域経済学会 山川充夫
日本都市計画学会 会長 中井検裕
日本水環境学会 会長 迫田章義
農業農村工学会 会長 渡邊紹裕
東京会議(2015年1月) 国内組織委員長 小池俊雄

17:00 30学会共同声明(英文)の発表および全体討論

コーディネータ 米田雅子 日本学術会議連携会員

開催趣旨

日本の防災・減災に関わる30の学会の代表が集まり、日本学術会議と連携し、東日本大震災に対する反省と今後の抜本的な見直しに際し、本質的な議論を展開する連続シンポジウム「巨大災害から生命と国土を護る—30学会からの発信」を行ってきた。理学・工学の関連分野に加え、社会経済や医学を含めた幅広い分野の研究者が、分野の壁を越えて議論し、2012年5月に政府に向けた共同声明、2014年11月に国際社会に向けた共同声明と30学会の取組み紹介の冊子を発出するなど、様々な成果をあげてきた。その最終回(11回)として、学術フォーラムを開催し、東日本大震災後の約5年間を振り返り、大震災から得られた教訓とその継承について議論する。

このフォーラムをもって「東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会」は終了するが、後継組織として「防災学術連携体」(Japan Academic Network for Disaster Reduction)を設立し、防災・減災の全般を対象に、より広い分野の研究者の参画を得ながら、今後の大災害等の緊急事態にも対応できる継続性のある学会ネットワークを育てていく。

日本学術会議は平成26年2月に「緊急事態における日本学術会議の活動に関する指針」を制定し、平成27年7月に「防災減災・災害復興に関する学術連携委員会」を設置した。防災学術連携体はこの委員会と密接に連携して活動する。

本フォーラムでは、防災学術連携体に期待される役割についても議論する。

日本学術会議主催学術フォーラム
最終回・第十一回連続シンポジウム「巨大災害から生命と国土を護る」
**防災学術連携体の設立と
東日本大震災の総合対応の継承**
日時..平成二十八年二月九日(土)午後一時から五時半
会場..日本学術会議講堂(東京都港区六本木七丁目二十二番地三十四号)
主催..日本学術会議 東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会
参加費..無料



定 員: 先着340名

お申込み: 10月20日(火)より受付を開始します。
下記サイトの申込フォームよりお申込ください。

<http://janet-dr.com>

定員になり次第締め切らせて頂きますので、ご了承ください。

問合せ先: 小野口弘美(事務局) Email: sympo.ndm@gmail.com

インターネットで実況中継(Ustream):

当日、ホームページ <http://janet-dr.com> を御覧下さい。

「東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会」の継承と「防災学術連携体」(12月16日時点)

* 防災学術連携体の発足により新しく参加予定の学会

安全工学会*
横断型基幹科学技術研究団体連合*
環境システム計測制御学会
空気調和・衛生工学会
計測自動制御学会
砂防学会
地域安全学会
地理情報システム学会
地盤工学会
土木学会
日本応用地質学会
日本海洋学会*
日本火災学会
日本火山学会*
日本風工学会*
日本活断層学会
日本機械学会
日本気象学会*
日本救急医学会*
日本計画行政学会
日本建築学会
日本原子力学会
日本古生物学会*
日本コンクリート工学会
日本災害看護学会*
日本災害情報学会
日本災害復興学会*
日本自然災害医学会
日本集団災害医学会
日本森林学会*
日本地震学会
日本地震工学会
日本地すべり学会
日本自治体危機管理学会*
日本造園学会
日本第四紀学会*
日本地域経済学会
日本地球惑星科学連合
日本地質学会*
日本地質学会*
日本地理学会*
日本都市計画学会
日本水環境学会
日本ロボット学会*
農業農村工学会
廃棄物資源循環学会

最終回・第11回連続シンポジウム「巨大災害から生命と国土を守る」

防災学術連携体の設立と東日本大震災の総合対応の継承

プログラム

13:00 挨拶・趣旨説明

司会：目黒公郎（日本学術会議連携会員、東京大学教授）
 挨拶：大西 隆（日本学術会議会長、豊橋技術科学大学学長）
 挨拶：加藤久喜（内閣府防災担当政策統括官）

13:15 学協会連絡会のこれまでの活動と成果について

依田照彦（日本学術会議会員、土木工学・建築学委員長、早稲田大学教授）

13:30 学会連携の取組み事例の発表

- ① 集団災害医学会20周年総会 学協会連絡会との連携PD
 小井土雄一（日本集団災害医学会代表理事、
 国立病院機構災害医療センター臨床研究部長）
- ② 東日本大震災合同調査報告「原子力編」刊行記念 合同報告会
 代表報告：川島一彦（東京工業大学名誉教授）
 日本地震工学会、日本原子力学会、土木学会、日本機械学会、
 日本都市計画学会、日本建築学会、日本地震学会、地盤工学会
- ③ 地球惑星科学委員会と土木工学・建築学委員会との連携
 「地質地盤情報の整備・活用と法整備」シンポジウム
 佃 栄吉（日本学術会議連携会員、産業技術総合研究所理事）

13:45 ディスカッションⅠ「東日本大震災復興の課題と今後の方向」

テーマ①「震災・復興に役立った知見、役立たなかった知見、役立てたかった知見」
 これまで各学会において多くの研究が進められてきたが、それらを大震災時に活用
 することができたかを、代表的な事例をあげて発表する。

（各学会 発表時間 3分間以内 合計45分間）

テーマ②「どのような体制があれば良かったか、震災の現場ではどのような研究が
 望まれていたか、学会連携に期待することは何か」

（自由討議30分間）

パネリスト：東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会／各学会代表15名

吉野 博（日本学術会議会員、東北大学教授）、

浅見泰司（日本学術会議連携会員、東京大学教授）

コーディネータ：米田雅子（日本学術会議連携会員、慶応義塾大学特任教授）

15:00 - 15:15 休憩

15:15 ディスカッションⅡ「東日本大震災に学んだ防災・減災と今後の方向」

テーマ①「防災・減災に役立った知見、役立たなかった知見、役立てたかった知見」
 これまで各学会において多くの研究が進められてきたが、それらが震災時に
 活用されたかを、代表的な事例をあげて発表する。

（各学会 発表時間 3分間以内 合計45分間）

テーマ②「どのような体制があれば良かったか、研究成果に社会を動かす説得力が
 あったか、学会連携に期待することは何か」

（自由討議30分間）

パネリスト：東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会／各学会代表15名

小松利光（日本学術会議会員、九州大学名誉教授）、

小池俊雄（日本学術会議連携会員、東京大学教授）

コーディネータ：米田雅子（前掲）

16:30 「防災学術連携体」設立の報告

和田 章（日本学術会議会員、東京工業大学名誉教授）

16:45 新規参加学会の取組み発表

17:25 閉会挨拶 田村和夫（日本学術会議連携会員、千葉工業大学教授）

ディスカッションⅠ 13:45

「東日本大震災復興の課題と今後の方向」

環境システム計測制御学会 名誉会員 中里卓治
 空気調和・衛生工学会 副会長 奥宮正哉
 計測自動制御学会 常務理事 谷川民生
 こども環境学会 会長 松本直司
 土木学会 会長 廣瀬典昭
 日本機械学会 筆頭副会長 岸本喜久雄
 日本建築学会 幹事 小野田泰明
 日本原子力学会 会長 上塚寛
 日本コンクリート工学会 会長 三橋博三
 日本造園学会 会長 宮城俊作
 日本地域経済学会 西堀喜久夫
 日本都市計画学会 会長 中井検裕
 日本水環境学会 会長 古米弘明
 農業農村工学会 会長 渡邊紹裕
 廃棄物資源循環学会 会長 松藤敏彦

ディスカッションⅡ 15:15

「東日本大震災に学んだ防災・減災と今後の方向」

砂防学会 会長 石川芳治
 地域安全学会 会長 立木茂雄
 地盤工学会 会長 東畑郁生
 地理情報システム学会 会長 矢野桂司
 日本応用地質学会 会長 長谷川修一
 日本火災学会 元会長 関澤 愛
 日本活断層学会 会長 岡田篤正
 日本計画行政学会 理事 山本佳世子
 日本災害情報学会 会長 田中 淳
 日本自然災害学会 会長 高橋和雄
 日本集団災害医学会 代表理事 小井土雄一
 日本地球惑星科学連合 理事 田中賢治
 日本地震学会 会長 加藤照之
 日本地震工学会 会長 目黒公郎
 日本地すべり学会 副会長 落合博貴

新規参加学会の取組み発表 16:45

日本気象学会 理事長 新野 宏
 日本風工学会 理事 前田潤滋
 日本救急医学会 災害医療検討委員長 本間正人
 日本古生物学会 評議員 北村晃寿
 日本災害看護学会 理事長 山本あい子
 日本災害復興学会 会長 中林一樹
 日本自治体危機管理学会 佐々木一如
 日本森林学会 会長 大河内 勇
 日本地質学会 常務理事 齋藤 真
 日本地図学会 会長 森田 喬
 日本地理学会 災害対応委員会委員長 熊木洋太
 日本ロボット学会 副会長 吉見 卓
 日本海洋学会 升本 順夫
 日本火山学会 理事 吉本充宏
 横断型基幹科学技術研究団体連合 会長 出口光一郎
 （12月16日時点）

熊本地震・緊急報告会

日 時：平成 28 年 5 月 2 日(月) 12:30 ~ 17:30

参加費：無 料

会 場：日本学術会議講堂（東京都港区六本木7丁目22番地34号）

主 催：日本学術会議、防災減災・災害復興に関する学術連携委員会

共 催：防災学術連携体



趣 旨

日本学術会議 防災減災・災害復興に関する学術連携委員会は、防災学術連携体（平成28年1月9日に発足した防災減災・災害復興に関する50学会のネットワーク）と連携して、2016年4月14日に発生した熊本地震への対応を進めています。このたび、日本学術会議と防災学術連携体に所属する学会から、異なる分野の専門家が集まり、この地震に関する正確な情報を発信すると共に、関係者間で情報共有をはかり学際連携を進めるために、緊急報告会を開催します。

申込み方法

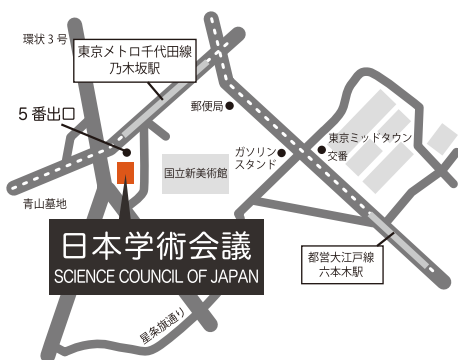
防災学術連携体のホームページからお申込下さい。

<http://janet-dr.com/>

定 員：先着 300 名

発表資料： 報告会前日の夕刻に、上記ホームページに掲載します。
各自印刷してご持参下さい。

※会場での資料配布はありません。



次 第

司 会 12:30

日本学術会議会員 依田照彦（早稲田大学教授、防災学術連携体副代表幹事）
日本学術会議連携会員 米田雅子（慶應義塾大学特任教授、防災学術連携体幹事）

挨 拶 12:31

日本学術会議 会長 大西 隆（豊橋技術科学大学学長、東京大学名誉教授）
日本学術会議 防災減災・災害復興に関する学術連携委員長 和田 章（東京工業大学名誉教授）
国土交通省 技術審議官 池田豊人

学会発表 ※学会としての発表ではなく、個人としての発表の場合もあります

①熊本地震について 12:40（発表 各14分、グループ質疑 5分）

日本活断層学会 宇根 寛（日本活断層学会副会長、国土地理院地理地殻活動研究センター長）
日本地震学会 加藤照之（日本地震学会会長、東京大学地震研究所教授）

②地震に関する情報について 13:14（発表 各14分、グループ質疑 5分）

地盤工学会 東畑郁生（地盤工学会会長） 安福規之（九州大学教授）
山口弘志（中央開発株式会社） 清田 隆（東京大学准教授）
日本地理学会 熊木洋太（専修大学教授）

③被災状況と対策について 13:48（発表 各14分、グループ質疑 12分）

地理情報システム学会 三谷泰浩（九州大学大学院 アジア防災研究センター 教授）
土木学会 本田利器（東京大学大学院新領域創成科学研究科教授）
日本建築学会 高山峯夫（日本建築学会九州支部災害委員会委員長、福岡大学教授）

休 憩

14:30—14:45（休憩15分）

日本地震工学会 楠 浩一（東京大学地震研究所准教授）
農業農村工学会 鈴木尚登（農業・食品産業技術総合研究機構）

④土砂災害・風水害と対策について 15:26（発表 各14分、グループ質疑 7分）

日本応用地質学会 釜井俊孝（京都大学防災研究所教授）
日本地すべり学会 福岡 浩（新潟大学災害・復興科学研究所教授）
砂防学会 山下伸太郎（砂防学会理事、(株)建設技術研究所東京本社砂防部長）

⑤避難・救助・救援について 16:15（発表 12分、6分、グループ質疑 3分）

日本災害看護学会 山本あい子（日本災害看護学会理事長、兵庫県立大学教授）
日本集団災害医学学会 森野一真（山形県立救急救命センター副所長）

⑥復旧・復興について 16:36（発表 各14分、グループ質疑 7分）

日本計画行政学会 山本佳世子（同学会災害対応研究特別委員会有志代表、電気通信大学准教授）
日本災害復興学会 中林一樹（日本災害復興学会会長、明治大学大学院特任教授）
廃棄物資源循環学会 吉岡敏明（廃棄物資源循環学会理事、東北大学大学院教授）
森口祐一（廃棄物資源循環学会理事、東京大学大学院教授）

閉会挨拶 17:25

防災学術連携体 代表幹事 廣瀬典昭（土木学会会長）

プログラム

司 会 10:00

- 日本学術会議会員 依田照彦(早稲田大学教授、防災学術連携体副代表幹事)
日本学術会議会員 米田雅子(慶應義塾大学特任教授、防災学術連携体事務局長)

挨拶 10:01

- 日本学術会議会長 大西 隆(豊橋技術科学大学 学長、東京大学名誉教授)
日本学術会議防災減災・災害復興に関する学術連携委員長 和田 章(東京工業大学名誉教授)
内閣府大臣官房審議官(防災担当) 緒方俊則

学会発表 ※学会としての発表ではなく、個人としての発表の場合もあります

①熊本地震について 10:10 (発表 各13分、グループ質疑 8分)

- 日本第四紀学会 竹村恵二(京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設教授)
日本地質学会 大橋聖和(山口大学大学院創成科学研究科講師)
向吉秀樹(島根大学大学院総合理工学研究科助教)
日本地震学会 清水 洋(九州大学大学院付属地震火山観測研究センター教授)
日本活断層学会 鈴木康弘(名古屋大学減災連携研究センター教授)

②地震に関する情報について 11:10 (発表 各13分、グループ質疑 6分)

- 日本地震学会 岩田知孝(京都大学防災研究所地震災害研究部門強震動研究分野教授)
日本地理学会 青山雅史(群馬大学教育学部准教授)
日本応用地質学会 黒木貴一(福岡教育大学教育学部教授)

昼 食 11:55-12:45

③被災状況と対策について 12:45 (発表 各13分、グループ質疑 10分)

- 土木学会 高橋良和(土木学会地震工学委員会地震被害調査小委員長、京都大学准教授)
日本建築学会 高山峯夫(日本建築学会九州支部災害委員会委員長、福岡大学教授)
地盤工学会 棕木俊文(地盤工学会平成28年熊本地震地盤災害調査団幹事長)
農業農村工学会 鈴木尚登(農研機構農村工学研究部門企画管理部災害対策調整室長)
廃棄物資源循環学会 島岡隆行(廃棄物資源循環学会会長、九州大学大学院工学研究院教授)

④土砂災害・風水害と対策について 14:00 (発表 各13分、グループ質疑 6分)

- 砂防学会 石川芳治(砂防学会前学会長、東京農工大学農学部教授)
日本地すべり学会 中村真也(琉球大学農学部地域農業工学科教授)
日本自然災害学会 寶 馨(日本自然災害学会副会長、京都大学防災研究所長)

休 憩 14:45-15:00

⑤避難・救助・救援について 15:00 (発表 各13分、グループ質疑 8分)

- 日本集団災害医学学会 近藤久禎(国立病院機構災害医療センター政策医療企画研究室長)
日本災害看護学会 山本あい子(日本看護系学会協議会理事、兵庫県立大学教授)
石井美恵子(日本災害看護学会理事、東京医療保健大学准教授)
日本看護系学会協議会 山本あい子(日本看護系学会協議会理事、兵庫県立大学教授)
日本地震工学会 目黒公郎(日本地震工学会会長、東京大学生産技術研究所教授)

⑥復旧・復興について 16:00 (発表 各13分、グループ質疑 10分)

- 日本災害復興学会 大矢根淳(日本災害復興学会 関東ブロック学術推進委員長)
日本計画行政学会 山本佳世子(同学会災害対応研究特別委員会有志代表、電気通信大学准教授)
日本造園学会 池邊このみ(日本造園学会理事・学術委員長、千葉大学大学院教授)
こども環境学会 松本直司(こども環境学会会長、名古屋工業大学名誉教授)
日本地域経済学会 岡田知弘(日本地域経済学会会長、京都大学大学院経済学研究科教授)

総合討論 17:15-17:37

挨拶 17:37

- 日本学術会議副会長 井野瀬久美恵(甲南大学教授)
防災学術連携体 代表幹事 廣瀬典昭(土木学会前会長)

申込み方法

防災学術連携体ホームページからお申込下さい。

<http://janet-dr.com/>

発表資料については報告会前日の夕刻に、上記ホームページに掲載します。

各自印刷してご持参下さい。 ※会場での資料配布はありません。

問合せ先：防災学術連携体 菅原(土木学会) sugawara@jsce.or.jp 03-3355-3443, 小野口 info@janet-dr.com

日本学術会議事務局 鈴木 03-3403-1056

日本学術会議主催公開シンポジウム

熊本地震・三ヶ月報告会

日時…平成二十八年七月十六日(土)午前十時から午後五時四十五分
会場…日本学術会議講堂(東京都港区六本木七丁目二十二番地三十四号)
主催…日本学術会議 防災減災・災害復興に関する学術連携委員会
共催…防災学術連携体
参加費…無料 定員…三〇〇名

日本学術会議は、平成28年熊本地震を「緊急事態に準じるもの」とした。防災減災・災害復興に関する学術連携委員会は、防災学術連携体(防災減災・災害復興に関する51学会のネットワーク)と連携して、5月2日に熊本地震・緊急報告会を開催し、17学会が調査速報の発表を行い、社会への情報発信・学会間の情報共有を進めた。

その後、熊本地震の余震は継続しており、雨による土砂災害の多発が懸念されている。また、各学会は地震・災害・救援・復興等に関わる調査や支援を続け、多くの知見を蓄積しつつある。

平成28年4月16日に発生した本震から3ヶ月目にあたる7月16日に、日本学術会議と防災学術連携体に所属する学会の代表が集まり、この地震に関して蓄積した正確な情報を発信すると共に、関係者間で更なる情報共有をはかり、今後の防災減災・災害復興のための提案を検討することが重要である。このため、熊本地震・3ヶ月報告会を開催する。



(2016.07.13版)

第1回 防災学術連携シンポジウム

52学会の結集による防災への挑戦 - 熊本地震における取組み -

主 催： 防災学術連携体（52学会）
日本学術会議 防災減災・災害復興に関する学術連携委員会

趣旨：本シンポジウムでは、熊本地震における現象、被災状況等を解説するとともに、その取り組みから、防災に関わる先端的技術・研究の一部を、一般市民を対象として分かりやすくビジュアルに紹介する。また、日本学術会議や各学会が勢揃いして、防災学術連携体の紹介と学会連携で日本の防災力を高めていくことを宣言する。

プログラム

- 司会 防災学術連携体事務局長 塚田幸広（土木学会専務理事）
- 挨拶 日本学術会議会長 大西 隆 （10:00～）
防災学術連携体代表幹事 和田 章
（日本学術会議 防災減災・災害復興に関する学術連携委員長）
- 防災学術連携体の概要紹介 （10:06～）
防災学術連携体事務局長 米田 雅子（日本学術会議会員）
- 熊本地震における学会の取組み （10:16～ 発表 各6分）
- 地震の観測と現象解明
 - 日本地球惑星科学連合 高橋 幸弘
 - 日本地震学会 山岡 耕春
 - 日本活断層学会 宇根 寛
 - 日本応用地質学会 井口 隆
 - 地震による被災状況と対策
 - 日本建築学会 松村 秀一
 - 地盤工学会 古屋 弘
 - 日本地すべり学会 落合 博貴
 - 砂防学会 石川 芳治
 - 日本火災学会 廣井 悠
 - 情報提供・避難
 - 日本地震工学会 目黒 公郎
 - 地域安全学会 石川 永子
 - 地理情報システム学会 吉川 耕司
 - 日本集団災害医学会 近藤 久禎
 - 震災後の対応から復旧・復興
 - 廃棄物資源循環学会 森口 祐一
 - 日本計画行政学会 山本 佳世子
- 防災・減災への防災学術連携体参加学会からのメッセージ （11:40～）
上記学会および、日本古生物学会、横幹連合、日本火山学会、日本ロボット学会、
日本救急医学会、日本災害復興学会などの代表が登壇の予定
日本学術会議の代表
防災学術連携体代表幹事 廣瀬典昭（土木学会前会長）
- 閉会の言葉 （11:57～）
防災学術連携体副代表幹事 依田照彦（日本学術会議会員）

日 時 .. 平成28年 8月28日(日) 10時～12時
会 場 .. 東京大学 安田講堂 大会場

第1回 防災推進国民大会

www.bosai-kokutai.jp/

安田講堂回廊のポスターセッション

「日本学術会議・防災学術連携体の活動」を展示予定

参加費：無 料（参加申込み不要）

発表資料は防災学術連携体ホームページに掲載

<http://janet-dr.com/>

※会場での資料配布はありません。

問合せ先：防災学術連携体 菅原健介（土木学会） sugawara@jsce.or.jp 03-3355-3443 / 小野口弘美 info@janet-dr.com

Workshop

1

12:30~14:20(110分間)

「火山災害にどう備えるか」

趣旨: 火山災害に関係のある学会の代表と日本学術会議の専門家が集まり、発生メカニズム、観測、対策、情報提供、避難行動、救助などについて、現時点の研究成果をわかりやすく一般向けにビジュアルに説明するとともに、今後、わが国はどう備えていけば良いのかを議論する。

プログラム

司会	ワークショップ幹事	山本佳世子
開会の挨拶 (12:30~)	日本学術会議会員	依田照彦
趣旨説明 (12:35~)	日本火山学会	井口正人
(12:44~ 各発表9分)		
講演1 「地質学が明らかにする火山噴火」	日本地質学会	及川輝樹
講演2 「百年・千年・万年スケールでみた火山噴火の頻度・特徴と噴火の影響が及ぶ範囲」	日本第四紀学会	鈴木毅彦
講演3 「災害の軽減に貢献するための火山観測研究」	日本火山学会	井口正人
講演4 「火山地域の土砂災害対策」	砂防学会	石川芳治
講演5 「火山とリモートセンシング」	計測自動制御学会	野波健蔵
講演6 「火山災害復旧の無人化施工・調査」	日本ロボット学会	油田信一
講演7 「警報伝達と避難対策」	地域安全学会	関谷直也
講演8 「火山防災計画と広域連携」	日本計画行政学会	堂免隆浩
質疑応答 (13:56~)		
司会	砂防学会	石川芳治

Workshop

2

14:40~16:30(110分間)

「東京圏の大地震にどう備えるか」

趣旨: 地震災害や防災・減災に関係の深い学会の代表と日本学術会議の専門家が集まり、地震や災害の発生メカニズム、観測、対策、情報提供、避難行動、救助などについて、一般向けにわかりやすくビジュアルに説明するとともに、今後、私たちはどう備えていけば良いのかを議論する。

プログラム

司会	ワークショップ幹事	加藤愛太郎
開会の挨拶・趣旨説明 (14:40~)	日本地震学会	加藤照之
(14:49~ 各発表9分)		
講演1 「首都直下地震の姿と防災対策」	日本地震学会	平田 直
講演2 「関東の活断層とその動き」	日本活断層学会	熊木洋太
講演3 「津波堆積物からの知見」	日本古生物学会	北村晃寿
講演4 「首都圏の地震被害想定」	日本地震工学会	目黒公郎
講演5 「都市・建築の耐震を進めよう」	日本建築学会	和田 章
講演6 「原子力安全と発電所の地震への備え」	日本原子力学会	関村直人
講演7 「大規模地震時の火災リスクの様相と対策」	日本火災学会	関澤 愛
講演8 「災害医療と日頃の備え」	日本救急医学会	勝見 敦
講演9 「次の震災からの東京復興」	日本災害復興学会	加藤孝明
質疑応答 (16:10~)		
司会	日本学術会議連携会員	田村和夫
閉会の言葉 (16:25~)	防災学術連携体	廣瀬典昭

日時 平成28年8月28日(日)
会場 東京大学本郷キャンパス 山上会館 2階 大会議室
主催 防災学術連携体(52学会)
日本学術会議 防災減災・災害復興に関する学術連携委員会

第1回防災推進国民大会

www.bosai-kokutai.jp/

ワークショップ

参加費: 無 料(参加申込み不要)

発表資料は防災学術連携体

ホームページに掲載

<http://janet-dr.com/>

※会場での資料配布はありません。

問合せ先:

防災学術連携体

菅原(土木学会) sugawara@jsce.or.jp

03-3355-3443

小野口 info@janet-dr.com

安全工学会
 横断型基幹科学技術研究団体連合
 環境システム計測制御学会
 空気調和・衛生工学会
 計測自動制御学会
 こども環境学会
 砂防学会
 石油学会
 ダム工学会
 地盤工学会
 地域安全学会
 地理情報システム学会
 土木学会
 日本応用地質学会
 日本海洋学会
 日本火災学会
 日本火山学会
 日本風工学会
 日本活断層学会
 日本看護系学会協議会
 日本機械学会
 日本気象学会
 日本救急医学会
 日本計画行政学会
 日本建築学会
 日本原子力学会
 日本公衆衛生学会
 日本古生物学会
 日本コンクリート工学会
 日本災害看護学会
 日本災害情報学会
 日本災害復興学会
 日本自然災害学会
 日本森林学会
 日本地震学会
 日本地震工学会
 日本地すべり学会
 日本自治体危機管理学会
 日本社会学会
 日本集団災害医学会
 日本造園学会
 日本第四紀学会
 日本地域経済学会
 日本地球惑星科学連合
 日本地形学連合
 日本地質学会
 日本地図学会
 日本地理学会
 日本都市計画学会
 日本水環境学会
 日本リモートセンシング学会
 日本緑化学会
 日本ロボット学会
 農業農村工学会
 廃棄物資源循環学会

開催趣旨

近年、地球温暖化による気候変動の影響などで日本の台風・豪雨災害が激化している。今年の台風第十号等による記録的な大雨は、北海道・岩手県に甚大な被害をもたらした。

日本学術会議の防災減災・災害復興に関する学術連携委員会は、防災学術連携体の55の構成学会とともに自然災害の軽減に向けて学術連携を進めている。このたびは「激甚化する台風・豪雨災害とその対策」をテーマにして「国土利用と台風・豪雨災害」、「台風・豪雨災害への備え」および「台風・豪雨災害時の避難・救助・復興」の3セッションの構成で、公開シンポジウムを開催する。

防災に関わる各学会の専門家が集まり、研究成果や取り組みを発表すると共に、今後、わが国はどう備えていけば良いのかを議論する。

激甚化する台風・豪雨災害とその対策

日本学術会議主催公開シンポジウム
 第2回防災学術連携シンポジウム

日時：平成二十八年十二月一日(木)午前二〇時～午後六時
 会場：日本学術会議講堂(東京都港区六本木七丁目二十二番地三十四号)
 主催：日本学術会議 防災減災・災害復興に関する学術連携委員会



申込方法： 防災学術連携体ホームページからお申込下さい。

<http://janet-dr.com/>

定 員： 300名

当日の講演概要： 「学術の動向」11月号特集(700円)を頒布予定

当日の発表パワーポイントは、前日の夕方に上記ホームページに掲載予定

問合せ先： 防災学術連携体: 菅原健介(土木学会) sugawara@jsce.or.jp 03-3355-3443

小野口弘美 info@janet-dr.com 日本学術会議事務局: 鈴木宗光 03-3403-1056

10:00－10:15

司会 防災学術連携体副代表幹事 依田照彦
挨拶 日本学術会議会長 大西 隆
主旨説明 防災減災・災害復興に関する学術連携委員会委員長／防災学術連携体代表幹事 和田 章
来賓挨拶 内閣府 防災担当 政策統括官 加藤久喜

10：15－12：35 セッション 1 「国土利用と台風・豪雨災害」

趣旨：「国土利用、台風・豪雨災害、風水・土砂災害」に関係の深い学会の代表と日本学術会議の専門家が集まり、気候変動、発生メカニズム、観測・予測、国土利用、都市計画、情報伝達等について、研究成果や取組みを説明すると共に、今後わが国はどう備えていけば良いのかを議論する。

日本気象学会、日本海洋学会、日本地球惑星科学連合、日本リモートセンシング学会、横断型基幹科学技術研究団体連合、日本地理学会、地理情報システム学会、日本地図学会、日本都市計画学会、ダム工学会、日本自然災害学会

— 昼 食 休 憩 —

13：20－15：40 セッション 2 「台風・豪雨災害への備え」

趣旨：「台風・豪雨災害への備え」に関係の深い学会の代表と日本学術会議の専門家が集まり、インフラ・建物の防災・老朽化対策、地盤情報と対策、地域経済、自然環境等について、研究成果や取組みを説明すると共に、今後わが国はどう備えていけば良いのかを議論する。

日本風工学会、土木学会、日本応用地質学会、日本地すべり学会、地盤工学会、日本コンクリート学会、日本水環境学会、農業農村工学会、日本地域経済学会、日本造園学会、日本森林学会

— 休 憩 —

16：00－17：50 セッション 3 「台風・豪雨災害時の避難・救助・復興」

趣旨：「台風・豪雨災害時の避難・救助・復興」に関係の深い学会の代表と日本学術会議の専門家が集まり、防災体制、情報伝達、避難、救助、災害医療、インフラ・設備の保全・復旧について、研究成果や取組みを説明すると共に、今後わが国はどう備えていけば良いのかを議論する

こども環境学会、日本災害情報学会、廃棄物資源循環学会、日本集団災害医学会、日本災害看護学会、日本看護系学会協議会、

日本自治体危機管理学会、日本緑化工学会

17：50－18：00

まとめの言葉 日本学術会議会員・防災学術連携体事務局長 米田雅子
閉会挨拶 防災学術連携体代表幹事 廣瀬典昭

セッション 1 「国土利用と台風・豪雨災害」

司会・趣旨説明 日本気象学会 筆保弘徳
講演1「激化する台風・豪雨災害」
日本気象学会 筆保弘徳
講演2「エルニーニョ／ラニーニャ現象と台風」
日本海洋学会 安田珠幾
講演3「気象災害リスクの理解と軽減への地球惑星科学の学際的な取り組み」
日本地球惑星科学連合 奥村晃史
講演4「防災減災の観点から考える衛星画像の有効利用」 日本リモートセンシング学会 桑原祐史
質疑応答1
講演5「社会経済的価値データとリスク事象データの空間的統合」 横幹連合 佐藤彰洋
講演6「防災における土地条件と正しい地形用語の使用」 日本地理学会 海津正倫
講演7「災害時のリスク情報管理におけるGISの役割」
地理情報システム学会 後藤真太郎
講演8「クライシスマッピングー世界中の市民がつくる被災地地図」 日本地図学会 古橋大地
質疑応答2
講演9「豪雨災害と都市・地域：8.20 広島豪雨災害と防災まちづくり」 日本都市計画学会 横張 真
講演10「滋賀県流域治水条例について」
ダム工学会 美濃部博
講演11「豪雨・洪水・土砂災害リスクと土地利用」
日本自然災害学会 寶 馨
質疑応答3
総括「国土利用と台風・豪雨」
日本自然災害学会 高橋和雄

セッション 2 「台風・豪雨災害への備え」

司会 日本風工学会 奥田泰雄
趣旨説明 日本学術会議 小松利光
講演1「耐風工学の進展と台風・竜巻対策」
日本風工学会 小林文明
講演2「豪雨（洪水）から社会を守る」
土木学会 山田 正
講演3「防災の観点から考える地形・地質情報の有効活用」 日本応用地質学会 中曽根茂樹
講演4「地すべり地形分布図に基づく斜面防災」
日本地すべり学会 檜垣大助
講演5「豪雨災害に関する地盤工学分野のとりくみ」
地盤工学会 小高猛司
講演6「コンクリート構造物の耐荷性能と劣化対策」
日本コンクリート工学会 丸山久一
講演7「豪雨対策に向けた水道システムの機能強化」
日本水環境学会 古米弘明
講演8「農業農村の風水害・土砂災害と保全対策」
農業農村工学会 鈴木尚登
講演9「災害と地域経済」
日本地域経済学会 宮入興一
講演10「防災減災とランドスケープ」
日本造園学会 篠沢健太
講演11「Eco-DRRとしての森林の機能の活用」
日本森林学会 坪山良夫
質疑応答「台風・豪雨災害への備え」
コーディネータ 日本学術会議 小松利光

セッション 3 「台風・豪雨災害時の避難・救助・復興」

司会 日本集団災害医学会 小井土雄一
趣旨説明 廃棄物資源循環学会 森口祐一
講演1「自然災害とこども・地域力」
こども環境学会 小澤紀美子
講演2「災害情報学による被害軽減の課題」
日本災害情報学会 片田敏孝
講演3「水害廃棄物処理における分野間連携の可能性」
廃棄物資源循環学会 多島 良
講演4「広島土砂災害、鬼怒川洪水のDMAT」
日本集団災害医学会 近藤祐史
講演5「国内外の水災害と看護の対応」
日本災害看護学会 神原咲子
講演6「熊本地震ならびに台風被害後における看護職としての支援」
日本看護系学会協議会 宇佐美しおり
講演7「過去の災害教訓にみる基礎自治体の防災体制と避難判断の課題」
日本自治体危機管理学会 飯塚智規
講演8「日本緑化工学会が災害時の復興に果たす役割」
日本緑化工学会 阿部和時
質疑応答「台風・豪雨災害時の避難・救助・復興」
コーディネータ 廃棄物資源循環学会 森口祐一

熊本地震 追悼・復興祈念行事

熊本地震・1周年報告会

● あすの熊本のため日本学術会議と30学会が集います ●

日 時：平成29年4月15日（土）11：00～18：20

会 場：熊本県庁本館 地下大会議室（熊本市中央区水前寺6-18-1）

主 催：内閣府 日本学術会議 防災減災・災害復興に関する学術連携委員会
熊本県
防災学術連携体（防災に関わる55学会のネットワーク）

がんばるけん！
くまもとけん！



©2010 熊本県くまモン

開催趣旨

平成28年4月14日、16日に発生した熊本地震から1年目にあたる平成29年4月15日に、地震・災害・救援・復興等に関わる各学会の調査状況を地元の方々に伝えると共に、熊本県・熊本市からも復旧・復興に関わる情報を発信し、関係者間で更なる情報共有をはかり、今後の防災減災・災害復興に役立てるために、一周年報告会を開催する。

定 員：450名 参加費：無 料

*当日の発表資料・ポスターセッション詳細資料は下記の
防災学術連携体ホームページに掲載

<http://janet-dr.com/>

ポスターセッション：地下大会議室の内外 同日11:00～13:00、15:31～15:46（休憩）、18:00～18:20

こども環境学会

熊本地震におけるこどもの遊び環境活性化支援活動について－益城町被災幼稚園・保育園におけるあそび環境改善アドバイス－

地域安全学会

みなし仮設を主体とした仮設住宅供与および災害ケースマネジメントの意義と今後の論点
－東日本大震災における研究成果の応用としての熊本市におけるアクションリサーチ－

地理情報システム学会

携帯電話位置情報を用いた熊本地震における避難場所の分布

日本応用地質学会

日本応用地質学会の2016年熊本地震に対する調査報告

日本火災学会

熊本地震における地震火災調査の報告

日本看護系学会協議会（日本精神保健看護学会） 熊本地震における看護者の役割－急性期から慢性期にいたるこころのケア－

日本計画行政学会

地域社会内部の連携および広域連携による復旧・復興への提言

日本災害看護学会

行政の保健福祉対応への支援活動で見出された教訓と今後の展望

日本災害復興学会

熊本地震の復興の基本方向－東日本大震災と中越地震の復興に学ぶべきこと－

日本地震学会

地震観測から見た熊本地震の地震像

日本自然災害学会

熊本地震による阿蘇山地の土砂災害の特徴について

日本第四紀学会

第四紀学を活用した2016年熊本地震の調査

日本地すべり学会

熊本地震関連地すべりの特徴と調査時の留意点について

日本造園学会

熊本地震における都市公園の利用実態

日本地質学会

2016年熊本地震を引き起こした地質学的背景

日本緑化工学会

熊本地震災害から学ぶ“緑”の役割とその再生

プログラム

13:00 開 会

司 会： 日本学術会議会員 米田雅子(防災学術連携体幹事・事務局長)
熊本地震土木部建築住宅局建築課長 上妻清人

主催挨拶： 日本学術会議会長 大西 隆(豊橋技術科学大学学長)
熊本地震知事 蒲島郁夫

趣旨説明： 日本学術会議 防災減災・災害復興に関する学術連携委員会委員長 和田 章(東京工業大学名誉教授)
挨拶： 日本自然災害学会会長 高橋和雄(長崎大学名誉教授)



13:15 I 学会発表(各11分+グループ質疑5分)

① 熊本地震の観測と現象解明

日本活断層学会 「熊本地震と活断層ー地震断層調査からわかったことー」 同学会副会長 鈴木康弘(名古屋大学教授)
日本地震学会 「2016年熊本地震で観測された強震動について」 同学会災害調査委員会委員長 松島信一(京都大学教授)
日本リモートセンシング学会 「平成28年熊本災害を対象とした衛星データの観測・処理解析結果」 同学会対外協力委員会副委員長 伊東明彦

② 地震の被災状況と対策について

日本建築学会 「熊本地震における建築物の被害と教訓」 同学会 九州支部災害委員会委員長 高山峯夫(福岡大学教授)
空気調和・衛生工学会 「熊本地震における設備被害の傾向と地震後の継続使用への取組みについて」 同学会設備耐震対策小委員会主査 木村 剛
日本機械学会 「産業施設及び機械構造物の耐震設計の現状と効果に関して」 同学会被害調査WG主査 藤田 聡(東京電機大学副学長)
土木学会 「社会基盤施設の復旧・復興に向けて」 松田泰治(熊本大学教授)
農業農村工学会 「農地・農業用施設・農村における熊本地震の被災状況と対策」 山下裕作(熊本大学教授)

③ 土砂災害・風水害と対策について

日本森林学会 「熊本地震による林地被害と対策」 黒川 潮(国立研究開発法人森林総合研究所 九州支所山地防災研究グループ長)
砂防学会 「熊本地震による土砂災害の実態と今後の対応」 同学会会長 丸谷知己(北海道大学教授)
地盤工学会 「熊本地震による斜面災害と二次災害に備えて」 同学会熊本地震地盤災害調査団長 北園芳人(熊本大学名誉教授)

15:31 休 憩

15:46 学会発表(各11分+グループ質疑5分)

④ 情報提供・避難・救援・復旧・復興について

日本災害情報学会 「災害対応の標準化を目指した熊本地震における行政の災害対応の分析」 沼田宗純(東京大学講師)
日本集団災害医学会 「熊本地震における災害医療対応」 同学会理事 近藤久禎(国立病院機構災害医療センター副災害医療部長)
廃棄物資源循環学会 「災害廃棄物処理実行計画策定支援のための現地調査報告」 同学会会長 島岡隆行(九州大学教授)
日本地震工学会 「2016年熊本地震の震災対応における支援と受援の双方からの教訓」 同学会会長 目黒公郎(東京大学教授)

16:35 II 熊本県・熊本市の発表

熊本県からの発表(30分)

- ① 災害時の対応 熊本県危機管理防災課課長 間宮将大
- ② 復旧復興プラン 熊本県知事公室政策調整監 府高 隆

熊本市からの発表(20分)

- ① 災害時の対応 熊本市総務局 危機管理防災総室室長 小原裕治
- ② 熊本城の再建計画 熊本市経済観光局 熊本城調査研究センター副所長 網田龍生

17:25 III 全体質疑

17:50 閉会の言葉

防災学術連携体代表幹事 廣瀬典昭
熊本県 知事公室長 坂本 浩

18:00 閉 会

(参考情報) 日本学術会議 防災減災・災害復興に関する学術連携委員会は、防災学術連携体(防災減災・災害復興に関する55学会のネットワーク)と連携して、28年5月2日に熊本地震・緊急報告会(17学会発表)、7月16日に熊本地震・三ヶ月報告会(23学会発表)を開催してきた。その後、熊本県・大分県周辺では、熊本地震の余震、阿蘇山の噴火、雨による土砂災害の多発が懸念されており、各学会は調査や支援活動を継続し、多くの知見を蓄積しつつある。このたびは、30の学会が全国から集まり、熊本地震に関する調査結果を発表およびポスター展示する。

防災学術連携体参加学会(2017年1月30日時点)

安 全 工 学 会	日本看護学会協議会	日本地すべり学会
横断型基幹科学技術研究団体連合	日本機械学会	日本自治体危機管理学会
環境システム計測制御学会	日本気象学会	日本社会学会
空気調和・衛生工学会	日本救急医学会	日本集団災害医学会
計測自動制御学会	日本計画行政学会	日本造園学会
こども環境学会	日本建築学会	日本第四紀学会
砂防学会	日本原子力学会	日本地域経済学会
石油学会	日本公衆衛生学会	日本地球惑星科学連合
ダム工学会	日本古生物学会	日本地形学連合
地盤工学会	日本学術会議 SCIENCE COUNCIL OF JAPAN	日本地質学会
地域安全学会		日本地国学会
地理情報システム学会	日本コンクリート工学会	日本地理学会
土木学会	日本災害看護学会	日本都市計画学会
日本応用地質学会	日本災害情報学会	日本水環境学会
日本海洋学会	日本災害復興学会	日本リモートセンシング学会
日本火災学会	日本自然災害学会	日本緑化工学会
日本火山学会	日本森林学会	日本ロボット学会
日本風工学会	日本地震学会	農業農村工学会
日本活断層学会	日本地震工学会	廃棄物資源循環学会